

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	信託期間は2013年12月27日から2024年10月8日まで (繰上償還決定前は無期限)です。	
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	SMT 米ドル建新興国債券 インデックス・オープン (為替ヘッジあり)	下記のマザーファンド受益証券 を主要投資対象とします。
	米ドル建新興国債券 インデックス マザーファンド	米ドル建の新興国債券を主要投 資対象とします。
組入制限	SMT 米ドル建新興国債券 インデックス・オープン (為替ヘッジあり)	外貨建資産への実質投資割合に は制限を設けません。
	米ドル建新興国債券 インデックス マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制 限を設けません。
分配方針	年2回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動 向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分 配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等 収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とし ます。	

当ファンドは特化型運用を行います。
当ファンドの実質投資対象である新興国が発行する米ドル建債券
には、一般社団法人投資信託協会規則で定める寄与度が10%を超え
る又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘
柄への投資が集中することがあります。
当該銘柄のエクスポージャーが投資信託財産の純資産総額の35%
を超えないように運用を行います。当該新興国に政治、経済情勢
の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合
又はそれが予想される場合には、大きな損失が発生することがあり
ます。

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金	9,266円44銭
-----------	-----------

SMT 米ドル建新興国債券 インデックス・オープン (為替ヘッジあり)

償還報告書(全体版)

第22期(償還日 2024年10月8日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、当ファンドはこのたび、投資信託約款の規定に
基づき、繰上償還いたしました。ここに謹んで設定以
来の運用状況と償還内容をご報告いたしますととも
に、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼
申しあげます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあ
げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当償還報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル:0120-668001
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

【本償還報告書の記載について】

- ・基準(償還)価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債券先物率 債券組入比率	債券先物率 比	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
設定日(2013年12月27日)	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	% —	百万円 0.5
第1期(2014年4月21日)	10,401	0	4.0	10,434	4.3	97.0	—	12
第2期(2014年10月20日)	10,892	0	4.7	10,985	5.3	95.0	—	80
第3期(2015年4月20日)	11,278	0	3.5	11,358	3.4	94.6	—	352
第4期(2015年10月20日)	10,945	0	△3.0	11,123	△2.1	93.4	—	393
第5期(2016年4月20日)	11,424	0	4.4	11,651	4.7	88.4	—	306
第6期(2016年10月20日)	11,698	0	2.4	11,981	2.8	98.2	—	351
第7期(2017年4月20日)	11,362	0	△2.9	11,747	△2.0	94.5	—	348
第8期(2017年10月20日)	11,677	0	2.8	12,074	2.8	91.0	—	368
第9期(2018年4月20日)	11,251	0	△3.6	11,687	△3.2	96.4	—	372
第10期(2018年10月22日)	10,941	0	△2.8	11,390	△2.5	94.7	—	374
第11期(2019年4月22日)	11,531	0	5.4	12,103	6.3	96.7	—	392
第12期(2019年10月21日)	12,379	0	7.4	13,074	8.0	94.6	—	494
第13期(2020年4月20日)	11,898	0	△3.9	12,522	△4.2	95.6	—	456
第14期(2020年10月20日)	13,184	0	10.8	13,999	11.8	93.5	—	525
第15期(2021年4月20日)	12,641	0	△4.1	13,498	△3.6	93.3	—	444
第16期(2021年10月20日)	12,740	0	0.8	13,572	0.6	97.0	—	443
第17期(2022年4月20日)	10,128	0	△20.5	10,582	△22.0	102.9	—	339
第18期(2022年10月20日)	8,576	0	△15.3	8,992	△15.0	97.8	—	298
第19期(2023年4月20日)	9,400	0	9.6	9,889	10.0	92.0	—	355
第20期(2023年10月20日)	8,557	0	△9.0	8,963	△9.4	97.2	—	315
第21期(2024年4月22日)	8,878	0	3.8	9,370	4.5	98.7	—	300
(償還日)	(償還価額)							
第22期(2024年10月8日)	9,266.44	—	4.4	9,835	5.0	—	—	252

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」です。

ベンチマークは、ブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レーティング・インベストメント・グレイド・インデックス（円ヘッジ・円ベース）です。

ブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レーティング・インベストメント・グレイド・インデックスとは、Bloomberg Finance L.P.及び、その関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、新興国が発行する米ドル建ての国債のうち、ブルームバーグが定める基準により投資適格格付が付与されていることなどの一定の要件を満たす国債の総合投資収益を時価総額比率で加重平均し指数化したものです。

「円ヘッジ・円ベース」は、対円の為替ヘッジを考慮して算出した指数です。

Bloomberg®及びブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レーティング・インベストメント・グレイド・インデックスは、Bloomberg Finance L.P.及び、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社のサービスマークであり、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。設定日を10,000として指数化したものを掲載しています。

当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(当 期 首) 2024年 4月22日	8,878	—	9,370	—	98.7	—
4月末	8,886	0.1	9,366	△0.0	100.1	—
5月末	8,939	0.7	9,451	0.9	94.1	—
6月末	9,043	1.9	9,570	2.1	96.5	—
7月末	9,093	2.4	9,631	2.8	92.5	—
8月末	9,278	4.5	9,864	5.3	—	—
9月末	9,267	4.4	9,980	6.5	—	—
(償 還 日) 2024年10月 8日	(償還価額) 9,266.44	4.4	9,835	5.0	—	—

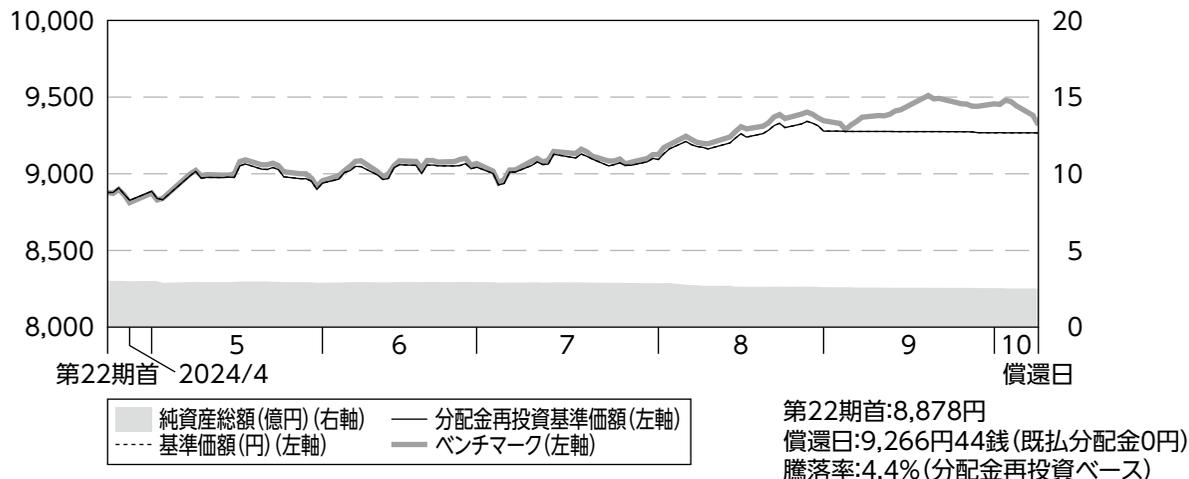
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」です。

当期中の運用経過

基準価額等の推移

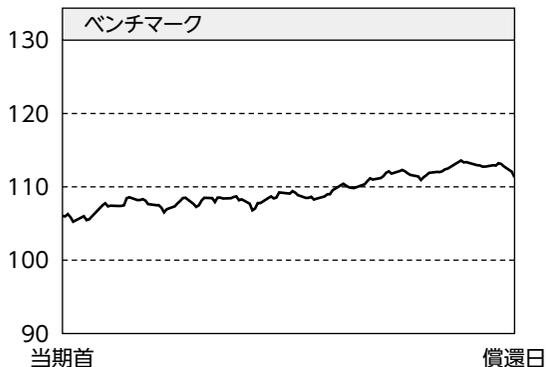


- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額及びベンチマークは、2024年4月22日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

ベンチマークであるブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レイティング・インベストメント・グレイド・インデックス(円ヘッジ・円ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行った結果、当期の基準価額はベンチマークとほぼ同じ動きとなり、上昇しました。当ファンド及びマザーファンドの繰上償還決定に伴い、2024年8月末から9月上旬にかけて、当ファンドでは為替ヘッジポジションを解消し、マザーファンドでは組入債券を全て売却しました。これにより安定運用に移行したことから、その後の基準価額は安定推移となりました。

投資環境



米ドル建新興国債利回りは、米回国債利回りの低下を受けて、低下(債券価格は上昇)しました。米回国債利回りは、物価指標の鈍化が続いた一方、失業率の上昇など雇用関連指標の減速が続いたことから、FRB(米連邦準備理事会)による利下げ観測が高まり、低下しました。

当ファンドのポートフォリオ

「米ドル建新興国債インデックス マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れ、実質組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行うことで、ブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レイティング・インベストメント・グレイド・インデックス(円ヘッジ・円ベース)に連動することを目指しました。当ファンド及びマザーファンドの繰上償還決定に伴い、2024年8月末から9月上旬にかけて、当ファンドでは為替ヘッジポジションを解消し、マザーファンドでは組入債券を全て売却しました。これにより安定運用に移行したことから、その後の基準価額は安定推移となりました。

【「米ドル建新興国債インデックス マザーファンド」の運用経過】

ベンチマークであるブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レイティング・インベストメント・グレイド・インデックス(円換算ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行いました。

(1) 債券組入比率

期を通じて高位を維持しました。

(2) ポートフォリオ構成

ベンチマークの投資国構成比率やデュレーション・満期構成等の諸属性を極力反映させることでベンチマークとの連動を目指しました。

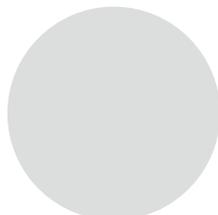
なお2024年8月下旬に、繰上償還決定に伴い、組入債券を全て売却し、安定運用に移行しました。

当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

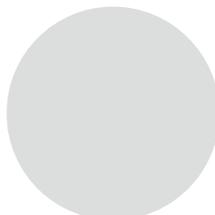
償還時における該当事項はありません。

○資産別配分



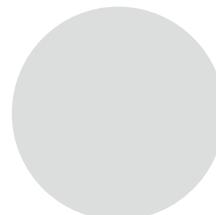
短期金融資産等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分

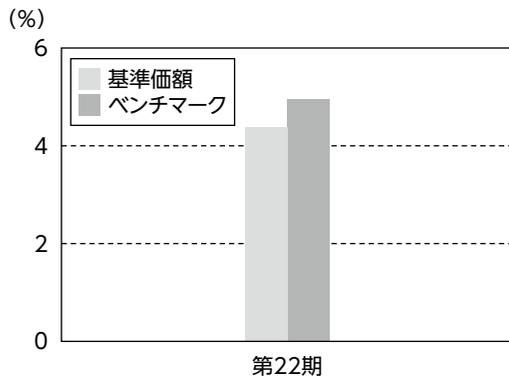


円
100.0%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。



当ファンドは、マザーファンドが繰上償還決定に伴い組入債券を全て売却するまで概ねベンチマークに連動しました。

ベンチマークとの乖離が生じた主なマイナス要因は信託報酬等です。

分配金

該当事項はありません。

設定以来の運用経過

第1期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第2期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第3期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第4期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第5期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第6期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第7期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第8期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第9期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第10期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第11期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第12期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第13期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第14期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第15期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第16期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第17期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第18期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第19期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第20期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第21期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第22期

期首から2024年8月下旬にかけては、ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

2024年8月下旬に、当ファンドの繰上償還決定に伴い、為替ヘッジポジションの解消およびマザーファンドの組入債券の全売却を実施し安定運用に移行したことから、その後の基準価額は安定推移となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2024年4月23日~2024年10月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	28円	0.306%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は9,084円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(12)	(0.127)	
(販売会社)	(14)	(0.158)	
(受託会社)	(2)	(0.020)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	12	0.133	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(12)	(0.130)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	40	0.439	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

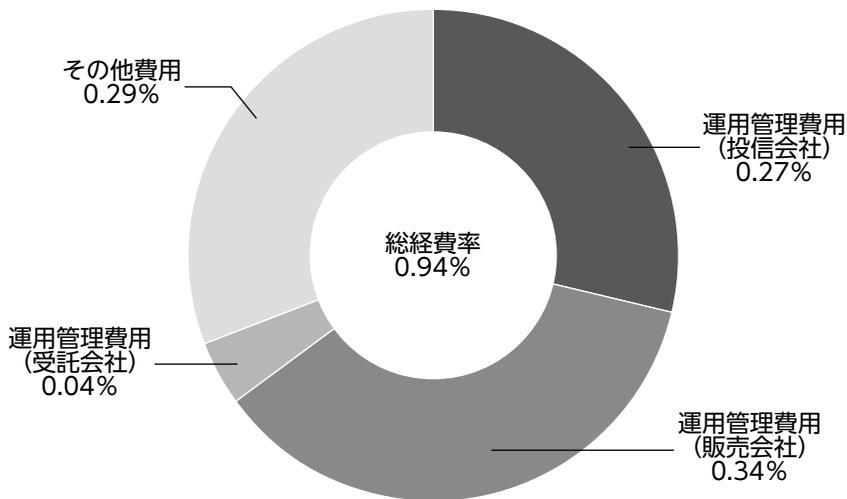
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.94%です。



(注1)各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

<親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米ドル建新興国債券インデックス マザーファンド	千口 13,039	千円 22,596	千口 191,819	千円 333,487

利害関係人^{*}との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為 替 先 物 取 引	百万円 1,483	百万円 557	% 37.6	百万円 1,176	百万円 583	% 49.6
コ ー ル ・ ロ ー ン	470	99	21.1	218	46	21.1

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<米ドル建新興国債券インデックス マザーファンド>

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為 替 直 物 取 引	百万円 21	百万円 19	% 90.5	百万円 331	百万円 301	% 90.9
コ ー ル ・ ロ ー ン	5,886	1,270	21.6	5,887	1,270	21.6

<平均保有割合 100.0%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

当期首残高 (元)	当期設定 本 元	当期解約 本 元	償還時残高 (元)	取引の理由
千円 90,358	千円 —	千円 —	千円 90,358	当初設定時における取得

* 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

償還時における該当事項はありません。

投資信託財産の構成

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 253,225	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	253,225	100.0

資産、負債、元本および償還価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および償還価額の状況

項 目	償 還 時 2024年10月8日現在
(A)資 産	253,225,511円
コール・ローン等	253,224,014
未 収 利 息	1,497
(B)負 債	871,225
未 払 解 約 金	2,304
未 払 信 託 報 酬	861,794
そ の 他 未 払 費 用	7,127
(C)純 資 産 総 額(A-B)	252,354,286
元 本	272,331,526
償 還 差 損 金	△19,977,240
(D)受 益 権 総 口 数	272,331,526口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,266円44銭

■損益の状況

項 目	当 期 自 2024年 4月23日 至 2024年10月 8日
(A)配 当 等 収 益	3,121円
受 取 利 息	3,121
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	11,223,986
売 買 益	35,511,351
売 買 損	△24,287,365
(C)信 託 報 酬 等	△868,921
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	10,358,186
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△49,952,194
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	19,616,768
(配 当 等 相 当 額)	(182,803,368)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△163,186,600)
償 還 差 損 金(D+E+F)	△19,977,240

(注1) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は338,883,344円、期中追加設定元本額は6,521,468円、期中一部解約元本額は73,073,286円です。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年12月27日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年10月 8日		資 産 総 額	253,225,511円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負 債 総 額	871,225円
受益権口数	500,000口	272,331,526口	271,831,526口	純 資 産 総 額	252,354,286円
元 本 額	500,000円	272,331,526円	271,831,526円	受 益 権 口 数	272,331,526口
				1万口当たり償還金	9,266.44円
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第 1 期	11,799,507円	12,272,348円	10,401円	0円	0.0000%
第 2 期	73,817,150	80,404,703	10,892	0	0.0000
第 3 期	312,162,161	352,045,594	11,278	0	0.0000
第 4 期	359,768,588	393,783,149	10,945	0	0.0000
第 5 期	267,972,588	306,134,602	11,424	0	0.0000
第 6 期	300,072,856	351,033,318	11,698	0	0.0000
第 7 期	306,469,506	348,207,074	11,362	0	0.0000
第 8 期	315,798,964	368,772,285	11,677	0	0.0000
第 9 期	331,299,569	372,733,238	11,251	0	0.0000
第 10 期	342,287,944	374,488,332	10,941	0	0.0000
第 11 期	340,120,960	392,177,527	11,531	0	0.0000
第 12 期	399,431,761	494,468,642	12,379	0	0.0000
第 13 期	383,797,801	456,654,258	11,898	0	0.0000
第 14 期	398,722,891	525,674,958	13,184	0	0.0000
第 15 期	351,967,941	444,935,366	12,641	0	0.0000
第 16 期	348,110,150	443,479,696	12,740	0	0.0000
第 17 期	335,563,551	339,852,718	10,128	0	0.0000
第 18 期	348,545,240	298,916,015	8,576	0	0.0000
第 19 期	378,070,831	355,384,482	9,400	0	0.0000
第 20 期	368,835,386	315,625,946	8,557	0	0.0000
第 21 期	338,883,344	300,849,233	8,878	0	0.0000

お知らせ

該当事項はありません。

米ドル建新興国債券インデックス マザーファンド

償還報告書

第12期（償還日 2024年10月7日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2013年5月2日から2024年10月7日まで（繰上償還決定前は無期限）です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	米ドル建の新興国債券を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

当親投資信託はこのたび償還いたしましたので、設定以来の運用状況と償還内容をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本償還報告書の記載について】

- ・基準（償還）価額は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債券先物率 債組入比率	純資産額
	期騰落率	中率	期騰落率	中率		
設定日(2013年5月2日)	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	百万円 2
第1期(2013年10月10日)	8,954	△10.5	8,981	△10.2	99.0	18,543
第2期(2014年10月10日)	10,727	19.8	10,797	20.2	97.4	25,168
第3期(2015年10月13日)	12,195	13.7	12,252	13.5	93.9	391
第4期(2016年10月11日)	11,663	△4.4	11,738	△4.2	96.8	359
第5期(2017年10月10日)	12,896	10.6	12,986	10.6	93.2	358
第6期(2018年10月10日)	12,589	△2.4	12,688	△2.3	96.2	373
第7期(2019年10月10日)	14,066	11.7	14,264	12.4	96.7	502
第8期(2020年10月12日)	14,898	5.9	15,083	5.7	92.0	531
第9期(2021年10月11日)	15,431	3.6	15,576	3.3	93.7	445
第10期(2022年10月11日)	14,516	△5.9	14,375	△7.7	95.7	305
第11期(2023年10月10日)	15,499	6.8	15,178	5.6	96.5	317
(償還日) 第12期(2024年10月7日)	(償還価額) 17,311.26	11.7	17,722	16.8	—	245

(注) 債券先物率は「買建比率－売建比率」です。

ベンチマークは、ブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レイティング・インベストメント・グレイド・インデックス（円換算ベース）です。

ブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レイティング・インベストメント・グレイド・インデックスとは、Bloomberg Finance L.P.及び、その関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、新興国が発行する米ドル建ての国債のうち、ブルームバーグが定める基準により投資適格格付が付与されていることなどの一定の要件を満たす国債の総合投資収益を時価総額比率で加重平均し指数化したものです。

「円換算ベース」は、米ドルベース指数をもとに当社が独自に円換算したものです。

Bloomberg®及びブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レイティング・インベストメント・グレイド・インデックスは、Bloomberg Finance L.P.及び、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社のサービスマークであり、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。設定日を10,000として指数化したものを掲載しています。

当期中の基準価額と市況の推移

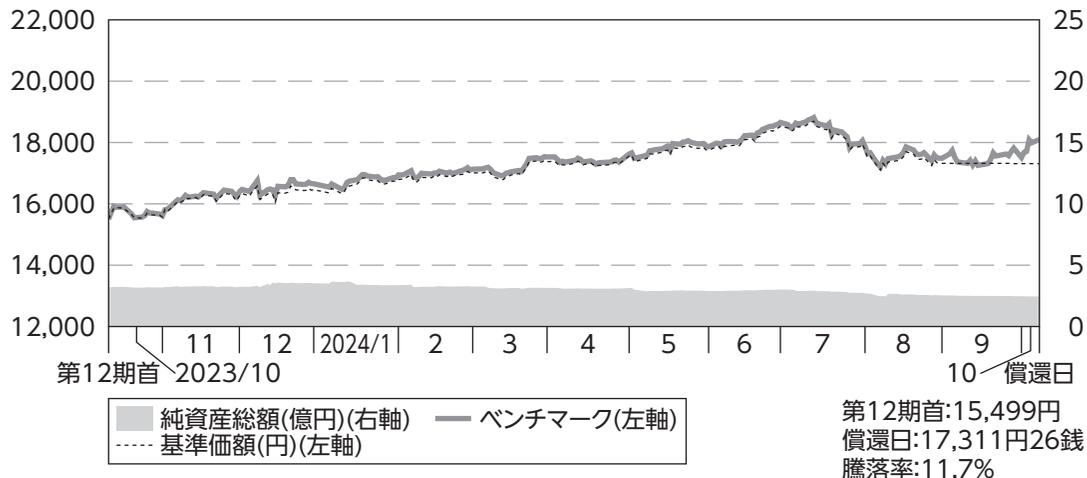
年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(当 期 首) 2023年10月10日	円 15,499	% —	15,178	% —	% 96.5	% —
10月末	15,567	0.4	15,292	0.7	96.6	—
11月末	16,255	4.9	16,055	5.8	94.0	—
12月末	16,461	6.2	16,309	7.4	93.0	—
2024年 1月末	16,794	8.4	16,593	9.3	94.1	—
2月末	17,011	9.8	16,776	10.5	94.8	—
3月末	17,375	12.1	17,166	13.1	95.9	—
4月末	17,554	13.3	17,260	13.7	96.0	—
5月末	17,747	14.5	17,494	15.3	94.5	—
6月末	18,527	19.5	18,269	20.4	93.9	—
7月末	17,749	14.5	17,500	15.3	97.4	—
8月末	17,320	11.7	17,124	12.8	—	—
9月末	17,310	11.7	17,148	13.0	—	—
(償 還 日) 2024年10月 7日	(償還価額) 17,311.26	11.7	17,722	16.8	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」です。

当期中の運用経過

基準価額等の推移



(注)ベンチマークは、2023年10月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

ベンチマークであるブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レイティング・インベストメント・グレイド・インデックス(円換算ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行った結果、当期の基準価額はベンチマークと概ね同じ動きとなり、上昇しました。8月下旬に、当ファンドの繰上償還決定に伴い、組入債券を全て売却し安定運用に移行したことから、その後の基準価額は安定推移となりました。

投資環境



米ドル建新興国債利回りは、対国債スプレッドの縮小や米国国債利回りの低下を受けて、低下（債券価格は上昇）しました。

米国国債利回りは、労働需給の軟化やインフレ鈍化を示す指標を受けた早期利下げ観測の高まりなどにより、2023年末にかけて低下しました。2024年に入り、4月にかけては、米国の雇用や消費関連の経済指標の底堅さから早期利下げ観測が後退したことを受け、利回りは上昇（債券価格は下落）に転じましたが、その後、米国の雇用関連指標が労働市場の減速を示したことなどから、FRB（米連邦準備理事会）による利下げ観測が高まり再び低下しました。

米ドル／円相場は、2024年7月月初にかけては、日本と欧米の主要な中央銀行の金融政策の違いと金利差拡大を背景に円安・米ドル高となりました。その後は、日銀が利上げ継続姿勢を維持する一方で、米国の根強い利下げ観測などにより、日米の金融政策スタンスの違いなどが意識され、米ドルは対円で下落に転じました。

当ファンドのポートフォリオ

ベンチマークであるブルームバーグ・US・エマージング・ソブリン・マキシマム・レイティング・インベストメント・グレイド・インデックス（円換算ベース）と連動する投資成果を目標として運用を行いました。

(1) 債券組入比率

期を通じて高位を維持しました。

(2) ポートフォリオ構成

ベンチマークの投資国構成比率やデュレーション・満期構成等の諸属性を極力反映させることでベンチマークとの連動を目指しました。

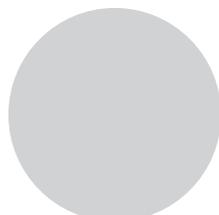
なお2024年8月下旬に、繰上償還決定に伴い、組入債券を全て売却し、安定運用に移行しました。

当ファンドの組入資産の内容

○組入銘柄

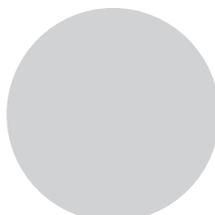
償還時における該当事項はありません。

○資産別配分



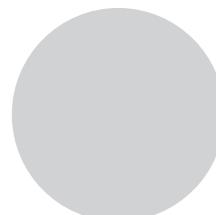
短期金融資産等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分

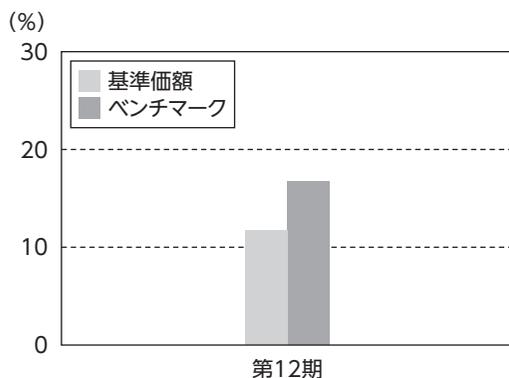


円
100.0%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。



当ファンドは、組入債券を全て売却するまで概ねベンチマークに連動しました。

ベンチマークとの乖離が生じた主なマイナス要因は、カストディコスト要因等です。

設定以来の運用経過

第1期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第2期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第3期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第4期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第5期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第6期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第7期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第8期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第9期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第10期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは下落し、当期の基準価額も下落しました。

第11期

ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

第12期

期首から2024年8月下旬にかけては、ベンチマークと連動する投資成果を目標として運用を行いました。ベンチマークは上昇し、当期の基準価額も上昇しました。

2024年8月下旬に、当ファンドの繰上償還決定に伴い、組入債券を全て売却し安定運用に移行したことから、その後の基準価額は安定推移となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年10月11日~2024年10月7日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (投資信託証券) (商品) (先物・オプション)	-円 (-) (-) (-) (-) (-) (-)	-% (-) (-) (-) (-) (-) (-)	(a) 売買委託手数料= $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (公社債) (投資信託証券)	- (-) (-) (-) (-) (-)	- (-) (-) (-) (-) (-)	(b) 有価証券取引税= $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	39 (39) (-) (0)	0.230 (0.229) (-) (0.000)	(c) その他費用= $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	39	0.230	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(17,139円)で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

< 公社債 >

			当 期	
			買 付 額	売 付 額
外国	ア メ リ カ	国 債 証 券	千米ドル 140	千米ドル 2,373

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

利害関係人[※]との取引状況等

■ 利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為 替 直 物 取 引	百万円 80	百万円 19	% 23.8	百万円 434	百万円 301	% 69.4
金 銭 信 託	0.027437	0.027437	100.0	0.027437	0.027437	100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	6,186	1,276	20.6	5,943	1,224	20.6

(注) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

組入資産の明細

償還時における該当事項はありません。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

投資信託財産の構成

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 245,268	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	245,268	100.0

資産、負債、元本および償還価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および償還価額の状況

項 目	償 還 時 2024年10月7日現在
(A)資 産	245,268,612円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	245,267,161
未 収 利 息	1,451
(B)負 債	30,893
未 払 解 約 金	30,893
(C)純 資 産 総 額(A-B)	245,237,719
元 本	141,663,703
償 還 差 益 金	103,574,016
(D)受 益 権 総 口 数	141,663,703口
1万口当たり償還価額(C/D)	17,311円26銭

■損益の状況

項 目	当 期 自 2023年10月11日 至 2024年10月 7日
(A)配 当 等 収 益	16,384,764円
受 取 利 息	16,384,914
支 払 利 息	△150
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	22,190,387
売 買 益	28,415,524
売 買 損	△6,225,137
(C)そ の 他 費 用	△674,639
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	37,900,512
(E)前 期 繰 越 損 益 金	112,689,630
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	34,414,321
(G)解 約 差 損 益 金	△81,430,447
償 還 差 益 金(D+E+F+G)	103,574,016

(注1) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

※当ファンドの期首元本額は204,916,339円、期中追加設定元本額は52,499,883円、期中一部解約元本額は115,752,519円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の償還時元本額は次の通りです。

SMT 米ドル建新興国債券インデックス・オープン(為替ヘッジあり) 141,663,703円

お知らせ

該当事項はありません。